情報公開文書

京都大学医学部附属病院循環器内科は下記の研究を行っております。

2026 年 5 月 第 1 版

2026 年 10 月 第 2 版

１．研究の名称：急性症候性肺塞栓症における造影 CT を用いた臨床予後予測の検討

２．倫理審査と許可：本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

３．研究機関の名称・研究責任者の氏名：京都大学医学部附属病院 循環器内科 助教 山下 侑吾

４．研究の目的と意義：肺塞栓症（肺の血管に血の塊が詰まる病気）の治療において、右心房や右心室への負担の程度を正しく評価することは非常に重要です。本研究は、急性症候性肺塞栓症と診断された患者さんの診断時の造影 CT 画像から得られる指標（右室と左室の大きさの比および血栓量スコア）の有用性を評価することを目的としています。また、AI（人工知能技術）を用いた自動解析の精度を検証することで、将来的にはより迅速かつ客観的に重症化のリスクを予測し、適切な初期治療を速やかに決定して予後を改善することを目指しています。また、静脈血栓塞栓症患者において、血液検査指標は、病態評価や臨床経過の把握に重要であり、これらと臨床予後との関連を検討する。

５．研究実施期間：研究機関の長の実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

６．対象となる試料・情報の取得期間：2015 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に、京都大学医学部附属病院循環器内科において急性症候性肺塞栓症または深部静脈血栓症と画像診断され、治療

を受けられた患者さんが対象となります。

７．試料・情報の利用目的・利用方法：

カルテから得られる患者さんの背景情報（年齢、症状、既往歴、治療内容など）や血液検査データ、および診断時に撮影された造影 CT 画像を収集し、データベースを構築して解析を行います。収集された情報はすべて氏名を ID 化した上で、セキュリティの確保された環境で厳重に保管されます 。研究の成果は、専門の学会や学術雑誌に発表を行いますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

８.利用または提供する試料･情報の項目:診療録と治療経過データに加えて診断時の CT 画像検査。

９．利用または提供を開始する予定日：

研究機関の長の実施許可日以降に利用を開始します。

１０．当該研究を実施する研究責任者の職名・氏名：

京都大学医学部附属病院 循環器内科 助教 山下 侑吾

１１．試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院 循環器内科 助教 山下 侑吾

１２．研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。しかしながら、まとめられたデータが既に学術誌など公表された後では、最終結果から除外できない可能性があります。

１３．他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

１４．研究資金・利益相反

1)　研究資金の種類および提供者

科学研究費助成事業（科研費：25K19415）静脈血栓塞栓症の個別化医療を目指した多層性データによる新しい予後予測スコアの創出：研究代表者 山下 侑吾

2)　提供者と研究者との関係

研究資金拠出者は、研究プロトコル作成、研究の施行、データ収集、イベント固定、統計解析には関与しません。

3)　利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

１５．研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1)　研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 循環器内科 助教 山下 侑吾

研究事務局 〒606 -8507 京都市左京区聖護院川原町 54

TEL：075-751-4255　FAX：075-751-3299　E-mail：yyamashi@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2)　京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口

TEL：075-751-4748 E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp